東京ケミテック
Tokyo Chemitech

標準塗装仕様書

2液水性反応硬化形高付着エポキシ系万能シーラー

トーケミ万能EPOテック [水性タイプ]

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	艶	荷姿（1セット）	混合比（重量）	ポットライフ	標準塗り面積（1回塗り）
トーケミ万能EPOテック [水性タイプ]	透明 ホワイト	—	15kgセット（主剤14.0kg・硬化剤1.0kg）	主剤：硬化剤 ＝14：1	5時間以内 （23℃）	約93～150㎡/15kg

適用基材

外壁	窯業系サイディング、無機系・光触媒サイディング、金属サイディング、押出成形セメント板、モルタル、コンクリート、PC板、ALC
屋根	住宅用化粧スレート、波形スレート、セメント瓦、乾式洋瓦、釉薬瓦、アスファルトシングル
付帯部	アルミニウム、FRP、硬質塩ビ、木部、ステンレスなど

標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (重量%)	塗装方法
下地調整	高圧洗浄などで、劣化塗膜・ごみ・ほこり・藻・かびなどの付着物を入念に除去し、十分に乾燥させる。 素地は含水率10%以下・pH10以下とし、浮き・割れ・ふくれのある旧塗膜は除去する。						
下塗り	トーケミ万能EPOテック [水性タイプ]	1～2	0.10～0.16	4時間以上 7日以内※2	水道水	0～10	はけ・エアレス ウールローラー
上塗り	適用上塗り材※1	各上塗り材の標準塗装仕様による					

※1 上塗り材は、各上塗り材の標準塗装仕様に従って施工してください。
※2 上塗りに弱溶剤形塗料を使用する場合の塗り重ね乾燥時間は、16時間以上7日以内としてください。
注）上記の数値は標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件などにより多少の幅が生じることがあります。

施工上の注意事項

【本製品の注意事項】

1. 調合時は必ず電動かくはん機で十分にかくはんし、調合後30分程度静置してください。不十分な場合、はじき・付着不良の原因となります。
2. 乾式洋瓦は、ターボノズルなどを併用し150kgf/cm²以上の圧力で入念に洗浄してください。着色スラリー層の除去を確認のうえ、本製品を2回塗りしてください。
3. アスファルトシングルに塗装する場合は、上塗りに水性塗料を使用してください。
4. 下地が著しく劣化・脆弱化している場合は、塗り回数を増やして固着させてください。

【施工環境・気象条件】

5. 気温5℃以下、湿度85%以上、被塗物の表面温度が5℃以下の場合、結露のおそれがある場合、屋外で降雨・降雪・強風のおそれがある場合は塗装を避けてください。
6. 乾燥不十分な状態で降雨・結露の影響を受けると、ふくれ・はく離・白化・シミなどが発生するおそれがあります。夜露の早い地域や寒暖差の大きい時期は、早めに作業を終えてください。
7. 絶えず結露が発生する部位・環境での使用は避けてください。水性塗料、水溶性溶剤塗料では塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物として析出することがあります。
8. ALC・軽量モルタル・高断熱型窯業系サイディング・発泡ウレタン使用建材など蓄熱しやすい「高断熱型外壁」では、蓄熱・水分・塗装環境などの条件が重なると、ふくれ・はく離が生じることがあります。躯体含水率が高い場合や漏水の止水処理が不十分な場合も同様です。旧塗膜にふくれがある場合は完全に除去してください。

【素地調整・下地】

9. 塗り替えの際は高圧洗浄やブラシなどで付着物・劣化塗膜を十分に除去してください。素地調整が不十分な場合、はく離・光沢不良・色むらなどの原因となります。
10. 高圧洗浄後は十分に乾燥させてから塗装してください。窯業系屋根材は内部に水分が残りやすいため、晴天で2～3日程度乾燥させてください。
11. 適用できる旧塗膜は、下地との付着性に問題のない活膜に限ります。光沢の残る旧塗膜は、目荒らしのうえ試し塗りで付着性を確認してください。
12. 新設のコンクリート・モルタル面は、pH10以下、表面含水率10%以下まで十分に乾燥させてください。
13. 藻・かびが繁殖している場合は、除去および殺菌処理後に十分水洗・乾燥させてから塗装してください。
14. 洗浄に薬剤を用いた場合は入念に水洗いし、被塗面が中性であることを確認してください。薬剤が残存するとふくれ・はく離・白化の原因となります。
15. 吸込みの激しい下地では、濡れ感・艶が出るまで増し塗りしてください。

【調合・希釈・かくはん】

16. 2液形塗料は主剤と硬化剤を規定の比率で正確に計量し、電動かくはん機で缶底・四隅まで均一に混合してください。混合比の誤りは乾燥不良・付着不良・耐久性低下の原因となります。ポットライフを過ぎた塗料は、外観上使用できる状態でも絶対に使用しないでください。
17. 希釈は規定の希釈剤・希釈率を守ってください。過剰希釈は隠ぺい力不足・光沢低下・色相変化・だれの原因となります。現場で一度定めた希釈率は以降も同一とし、溶剤形塗料では指定外の希釈剤を使用しないでください。
18. 使用前に十分にかくはんしてください。開缶後は一度に使い切り、残った塗料を元の容器に戻さないでください。

【屋根塗装】

19. 化粧スレートの重なり部が塗料で詰まった場合は、皮スキ・カッターなどで必ず縁切りを行うか、塗装前に専用スペーサーを挿入してください。雨水の排出不良による漏水・素材劣化の原因となります。

【塗装作業】

20. 所定の塗り回数・使用量を必ず守ってください。不足すると付着不良や、上塗りの吸込みむらの原因となります。
21. 塗り重ね乾燥時間を守ってください。短いと、ちぢみ・割れ・乾燥不良、長く空きすぎると層間の付着不良の原因となります。
22. ローラー目は同一方向にそろえて仕上げてください。はけ・ローラーは製品ごとに専用とし（水性塗料はナイロンはけ）、その日のうちに洗浄してください。
23. 塗装しない箇所は事前に養生し、付着した塗料は直ちに拭き取ってください。

【適用部位・部材】

24. シーリング面への塗装は、汚染・はく離・割れ・粘着の原因となるため、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、ノンブリードタイプのシーリング材を用い、完全硬化後に塗り重ね適合性を確認のうえ塗装してください。
25. 可塑剤を多く含む部材（塩ビ鋼板・軟質塩ビ・ゴムパッキン・合成皮革・ラミネート材など）への塗装は、粘着・軟化・汚染が生じるおそれがあります。

【保管・取扱い・廃棄】

26. 塗料は直射日光・雨を避け、子どもの手の届かない場所に保管してください。塗料は凍結させないでください。容器は横倒しにしないでください。
27. 溶剤形塗料・硬化剤は火気厳禁とし、危険物の貯蔵基準に従って保管してください。硬化剤は湿気と反応して変質するため、密栓して保管してください。
28. 取扱い時は十分に換気し、必要に応じて保護マスク・保護めがね・保護手袋を着用してください。皮膚に付着した場合は石けん水で洗い落としてください。
29. 塗料・塗料容器・塗装用具などは産業廃棄物として処理してください。洗浄水を排水溝・河川・土壌へ流さないでください。
30. 使用期限は未開封で、水性・水溶性溶剤は製造後6ヶ月、溶剤形は製造後12ヶ月です。

東京ケミテック
Tokyo Chemitech

標準塗装仕様書

2液弱溶剤形高付着エポキシ系万能シーラー

トーケミ万能EPOテック [弱溶剤タイプ]

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	艶	荷姿（1セット）	混合比（重量）	ポットライフ	標準塗り面積（1回塗り）
トーケミ万能EPOテック [弱溶剤タイプ]	透明 ホワイト	—	15kgセット（主剤13.5kg・硬化剤1.5kg）	主剤：硬化剤 ＝9：1	6時間以内 （23℃）	約93～150㎡/15kg

適用基材

外壁	窯業系サイディング、無機系・光触媒サイディング、金属サイディング、押出成形セメント板、モルタル、コンクリート、PC板、ALC
屋根	住宅用化粧スレート、波形スレート、セメント瓦、乾式洋瓦、釉薬瓦、カラー鋼板、フッ素鋼板、ガルバリウム鋼板
付帯部	FRP、硬質塩ビ、木部、鉄部、電気亜鉛めっき、アルミニウム、ステンレスなど

標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (重量%)	塗装方法
下地調整	高圧洗浄などで、劣化塗膜・ごみ・ほこり・藻・かびなどの付着物を入念に除去し、十分に乾燥させる。 金属部のさび・劣化塗膜はケレンで除去し、素地は含水率10%以下・pH10以下とする。						
下塗り	**トーケミ万能EPOテック [弱溶剤タイプ]**	1～2	0.10～0.16	6時間以上7日以内	—	無希釈	はけ・エアレス ウールローラー
上塗り	適用上塗り材※1	各上塗り材の標準塗装仕様による					

※1 上塗り材は、各上塗り材の標準塗装仕様に従って施工してください。
注）上記の数値は標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件などにより多少の幅が生じることがあります。

施工上の注意事項

【本製品の注意事項】
1. 調合時は必ず電動かくはん機を使用してください。かくはんが不十分な場合、上塗りのはじき・肉割れの原因となります。
2. 乾式洋瓦は、ターボノズルなどを併用し150kgf/cm²以上の圧力で入念に洗浄してください。着色スラリー層の除去を確認のうえ、本製品を2回塗りしてください。
3. 下地が著しく劣化・脆弱化している場合は、塗り回数を増やして固着させてください。
4. 弱溶剤形塗料のため、取扱い時は火気に注意し、消防法・労働安全衛生法などの関係法令を守ってください。

【施工環境・気象条件】
5. 気温5℃以下、湿度85%以上、被塗物の表面温度が5℃以下の場合、結露のおそれがある場合、屋外で降雨・降雪・強風のおそれがある場合は塗装を避けてください。
6. 乾燥不十分な状態で降雨・結露の影響を受けると、ふくれ・はく離・白化・シミなどが発生するおそれがあります。夜露の早い地域や寒暖差の大きい時期は、早めに作業を終えてください。
7. 絶えず結露が発生する部位・環境での使用は避けてください。
8. ALC・軽量モルタル・高断熱型窯業系サイディング・発泡ウレタン使用建材など蓄熱しやすい「高断熱型外壁」では、蓄熱・水分・塗装環境などの条件が重なると、ふくれ・はく離が生じることがあります。躯体含水率が高い場合や漏水の止水処理が不十分な場合も同様です。旧塗膜にふくれがある場合は完全に除去してください。

【素地調整・下地】
9. 塗り替えの際は高圧洗浄やブラシなどで付着物・劣化塗膜を十分に除去してください。素地調整が不十分な場合、はく離・光沢不良・色むらなどの原因となります。
10. 高圧洗浄後は十分に乾燥させてから塗装してください。窯業系屋根材は内部に水分が残りやすいため、晴天で2～3日程度乾燥させてください。
11. 適用できる旧塗膜は、下地との付着性に問題のない活膜に限ります。光沢の残る旧塗膜は、目荒らしのうえ試し塗りで付着性を確認してください。
12. 新設のコンクリート・モルタル面は、pH10以下、表面含水率10%以下まで十分に乾燥させてください。
13. 藻・かびが繁殖している場合は、除去および殺菌処理後に十分水洗・乾燥させてから塗装してください。
14. 洗浄に薬剤を用いた場合は入念に水洗いし、被塗面が中性であることを確認してください。薬剤が残存するとふくれ・はく離・白化の原因となります。
15. 吸込みの激しい下地では、濡れ感・艶が出るまで増し塗りしてください。

【調合・希釈・かくはん】
16. 2液形塗料は主剤と硬化剤を規定の比率で正確に計量し、電動かくはん機で缶底・四隅まで均一に混合してください。混合比の誤りは乾燥不良・付着不良・耐久性低下の原因となります。ポットライフを過ぎた塗料は、外観上使用できる状態でも絶対に使用しないでください。
17. 使用前に十分にかくはんしてください。開缶後は一度に使い切り、残った塗料を元の容器に戻さないでください。

【屋根塗装】
18. 化粧スレートの重なり部が塗料で詰まった場合は、皮スキ・カッターなどで必ず縁切りを行うか、塗装前に専用スペーサーを挿入してください。雨水の排出不良による漏水・素材劣化の原因となります。

【塗装作業】
19. 所定の塗り回数・使用量を必ず守ってください。不足すると付着不良や、上塗りの吸込みむらの原因となります。
20. 塗り重ね乾燥時間を守ってください。短いと、ちぢみ・割れ・乾燥不良、長く空きすぎると層間の付着不良の原因となります。
21. ローラー目は同一方向にそろえて仕上げてください。はけ・ローラーは製品ごとに専用とし（水性塗料はナイロンはけ）、その日のうちに洗浄してください。
22. 塗装しない箇所は事前に養生し、付着した塗料は直ちに拭き取ってください。

【適用部位・部材】
23. シーリング面への塗装は、汚染・はく離・割れ・粘着の原因となるため、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、ノンブリードタイプのシーリング材を用い、完全硬化後に塗り重ね適合性を確認のうえ塗装してください。
24. 可塑剤を多く含む部材（塩ビ鋼板・軟質塩ビ・ゴムパッキン・合成皮革・ラミネート材など）への塗装は、粘着・軟化・汚染が生じるおそれがあります。

【保管・取扱い・廃棄】
25. 塗料は直射日光・雨を避け、子どもの手の届かない場所に保管してください。塗料は凍結させないでください。容器は横倒しにしないでください。
26. 溶剤形塗料・硬化剤は火気厳禁とし、危険物の貯蔵基準に従って保管してください。硬化剤は湿気と反応して変質するため、密栓して保管してください。
27. 取扱い時は十分に換気し、必要に応じて保護マスク・保護めがね・保護手袋を着用してください。皮膚に付着した場合は石けん水で洗い落としてください。
28. 塗料・塗料容器・塗装用具などは産業廃棄物として処理してください。洗浄水を排水溝・河川・土壌へ流さないでください。
29. 使用期限は未開封で、水性・水溶性溶剤は製造後6ヶ月、溶剤形は製造後12ヶ月です。

東京ケミテック
Tokyo Chemitech

標準塗装仕様書

1液水性反応硬化形浸透性外壁用カチオンシーラー

トーケミ浸透性シーラー

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	艶	荷姿	混合比（重量）	ポットライフ	標準塗り面積（1回塗り）
トーケミ浸透性シーラー	透明 ホワイト	—	15kg缶	—	—	約75～150㎡/15kg

適用基材

外壁	コンクリート、モルタル、GRC板、ケイカル板、サイディングボード、吹付タイル、スタッコ、リシン、その他一般外壁

標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (重量%)	塗装方法
下地調整	高圧洗浄などで、劣化塗膜・ごみ・ほこり・藻・かびなどの付着物を入念に除去し、十分に乾燥させる。 素地は含水率10%以下・pH10以下とし、浮き・割れ・ふくれのある旧塗膜は除去する。						
下塗り	**トーケミ浸透性シーラー**	1	0.10～0.20	4時間以上	—	無希釈	はけ・エアレス ウールローラー
上塗り	適用上塗り材※1	各上塗り材の標準塗装仕様による					

※1 上塗り材は、各上塗り材の標準塗装仕様に従って施工してください。
注）上記の数値は標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件などにより多少の幅が生じることがあります。

施工上の注意事項

【本製品の注意事項】

1. カチオン系塗料のため、希釈できません。また、他の塗料と混合しないでください。
2. 下地表面に微細なひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択してください。
3. セメント質下地は、表面含水率10%以下（pH10以下）になるまで乾燥させてください。

【施工環境・気象条件】

4. 気温5℃以下、湿度85%以上、被塗物の表面温度が5℃以下の場合、結露のおそれがある場合、屋外で降雨・降雪・強風のおそれがある場合は塗装を避けてください。
5. 乾燥不十分な状態で降雨・結露の影響を受けると、ふくれ・はく離・白化・シミなどが発生するおそれがあります。夜露の早い地域や寒暖差の大きい時期は、早めに作業を終えてください。
6. 絶えず結露が発生する部位・環境での使用は避けてください。水性塗料、水溶性溶剤塗料では塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物として析出することがあります。
7. ALC・軽量モルタル・高断熱型窯業系サイディング・発泡ウレタン使用建材など蓄熱しやすい「高断熱型外壁」では、蓄熱・水分・塗装環境などの条件が重なると、ふくれ・はく離が生じることがあります。躯体含水率が高い場合や漏水の止水処理が不十分な場合も同様です。旧塗膜にふくれがある場合は完全に除去してください。

【素地調整・下地】

8. 塗り替えの際は高圧洗浄やブラシなどで付着物・劣化塗膜を十分に除去してください。素地調整が不十分な場合、はく離・光沢不良・色むらなどの原因となります。
9. 高圧洗浄後は十分に乾燥させてから塗装してください。
10. 適用できる旧塗膜は、下地との付着性に問題のない活膜に限ります。光沢の残る旧塗膜や、無機・光触媒・フッ素などで表面処理された窯業系サイディングは、目荒らしのうえ試し塗りで付着性を確認してください。
11. 藻・かびが繁殖している場合は、除去および殺菌処理後に十分水洗・乾燥させてから塗装してください。
12. 洗浄に薬剤を用いた場合は入念に水洗いし、被塗面が中性であることを確認してください。薬剤が残存するとふくれ・はく離・白化の原因となります。
13. 吸込みの激しい下地では、濡れ感・艶が出るまで増し塗りしてください。

【調合・希釈・かくはん】

14. 使用前に十分にかくはんしてください。開缶後は一度に使い切り、残った塗料を元の容器に戻さないでください。

【塗装作業】

15. 所定の塗り回数・使用量を必ず守ってください。不足すると付着不良や、上塗りの吸込みむらの原因となります。
16. 塗り重ね乾燥時間を守ってください。短いと、ちぢみ・割れ・乾燥不良、長く空きすぎると層間の付着不良の原因となります。
17. ローラー目は同一方向にそろえて仕上げてください。はけ・ローラーは製品ごとに専用とし（水性塗料はナイロンはけ）、その日のうちに洗浄してください。
18. 塗装しない箇所は事前に養生し、付着した塗料は直ちに拭き取ってください。

【適用部位・部材】

19. シーリング面への塗装は、汚染・はく離・割れ・粘着の原因となるため、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、ノンブリードタイプのシーリング材を用い、完全硬化後に塗り重ね適合性を確認のうえ塗装してください。
20. 可塑剤を多く含む部材（塩ビ鋼板・軟質塩ビ・ゴムパッキン・合成皮革・ラミネート材など）への塗装は、粘着・軟化・汚染が生じるおそれがあります。

【保管・取扱い・廃棄】

21. 塗料は直射日光・雨を避け、子どもの手の届かない場所に保管してください。塗料は凍結させないでください。容器は横倒しにしないでください。
22. 取扱い時は十分に換気し、必要に応じて保護マスク・保護めがね・保護手袋を着用してください。皮膚に付着した場合は石けん水で洗い落としてください。
23. 塗料・塗料容器・塗装用具などは産業廃棄物として処理してください。洗浄水を排水溝・河川・土壌へ流さないでください。
24. 使用期限は未開封で、水性・水溶性溶剤は製造後6ヶ月、溶剤形は製造後12ヶ月です。

東京ケミテック
Tokyo Chemitech

標準塗装仕様書

1液水性反応硬化形屋根・外壁用シリコン系サーフェーサー

トーケミマルチサーフ

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	艶	荷姿	混合比（重量）	ポットライフ	標準塗り面積（1回塗り）
トーケミマルチサーフ	ホワイト	—	15kg缶	—	—	約30～75㎡/15kg

適用基材

外壁	サイディングボード、コンクリート、モルタル、その他一般外壁
屋根	スレート瓦、セメント瓦、アスファルトシングル（水性上塗り材に限る）

標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23°C)	希釈剤	希釈率 (重量%)	塗装方法
下地調整	高圧洗浄などで、劣化塗膜・ごみ・ほこり・藻・かびなどの付着物を入念に除去し、十分に乾燥させる。 素地は含水率10%以下・pH10以下とし、浮き・割れ・ふくれのある旧塗膜は除去する。						
下塗り	**トーケミマルチサーフ**	1※2	0.20～0.50	24時間以上	—	無希釈	はけ・エアレス ウールローラー
上塗り	適用上塗り材※1	各上塗り材の標準塗装仕様による					

※1 上塗り材（水性系塗料・弱溶剤系塗料）は、各上塗り材の標準塗装仕様に従って施工してください。
※2 吸込みの激しい下地の場合、塗り回数を増やしてください。
注）上記の数値は標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件などにより多少の幅が生じることがあります。

施工上の注意事項

【本製品の注意事項】
1. 無希釈で使用してください。また、上塗りは必ず翌日以降に塗装してください。
2. 一度に厚付けすると、乾燥過程でひび割れするおそれがあります。
3. モニエル瓦・スカンジア瓦・陶器瓦には、別途適用下塗り材を塗布してから本製品を施工してください。

【施工環境・気象条件】
4. 気温5°C以下、湿度85%以上、被塗物の表面温度が5°C以下の場合、結露のおそれがある場合、屋外で降雨・降雪・強風のおそれがある場合は塗装を避けてください。
5. 乾燥不十分な状態で降雨・結露の影響を受けると、ふくれ・はく離・白化・シミなどが発生するおそれがあります。夜露の早い地域や寒暖差の大きい時期は、早めに作業を終えてください。
6. 絶えず結露が発生する部位・環境での使用は避けてください。水性塗料、水溶性溶剤塗料では塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物として析出することがあります。
7. ALC・軽量モルタル・高断熱型窯業系サイディング・発泡ウレタン使用建材など蓄熱しやすい「高断熱型外壁」では、蓄熱・水分・塗装環境などの条件が重なると、ふくれ・はく離が生じることがあります。躯体含水率が高い場合や漏水の止水処理が不十分な場合も同様です。旧塗膜にふくれがある場合は完全に除去してください。

【素地調整・下地】
8. 塗り替えの際は高圧洗浄やブラシなどで付着物・劣化塗膜を十分に除去してください。素地調整が不十分な場合、はく離・光沢不良・色むらなどの原因となります。
9. 高圧洗浄後は十分に乾燥させてから塗装してください。窯業系屋根材は内部に水分が残りやすいため、晴天で2～3日程度乾燥させてください。
10. 適用できる旧塗膜は、下地との付着性に問題のない活膜に限ります。光沢の残る旧塗膜は、目荒らしのうえ試し塗りで付着性を確認してください。
11. 新設のコンクリート・モルタル面は、pH10以下、表面含水率10%以下まで十分に乾燥させてください。
12. 藻・かびが繁殖している場合は、除去および殺菌処理後に十分水洗・乾燥させてから塗装してください。
13. 洗浄に薬剤を用いた場合は入念に水洗いし、被塗面が中性であることを確認してください。薬剤が残存するとふくれ・はく離・白化の原因となります。
14. 吸込みの激しい下地では、濡れ感・艶が出るまで増し塗りしてください。

【調合・希釈・かくはん】
15. 使用前に十分にかくはんしてください。開缶後は一度に使い切り、残った塗料を元の容器に戻さないでください。

【屋根塗装】
16. 化粧スレートの重なり部が塗料で詰まった場合は、皮スキ・カッターなどで必ず縁切りを行うか、塗装前に専用スペーサーを挿入してください。雨水の排出不良による漏水・素材劣化の原因となります。

【塗装作業】
17. 所定の塗り回数・使用量を必ず守ってください。不足すると付着不良や、上塗りの吸込みむらの原因となります。
18. 塗り重ね乾燥時間を守ってください。短いと、ちぢみ・割れ・乾燥不良、長く空きすぎると層間の付着不良の原因となります。
19. ローラー目は同一方向にそろえて仕上げてください。はけ・ローラーは製品ごとに専用とし（水性塗料はナイロンはけ）、その日のうちに洗浄してください。
20. 塗装しない箇所は事前に養生し、付着した塗料は直ちに拭き取ってください。

【適用部位・部材】
21. シーリング面への塗装は、汚染・はく離・割れ・粘着の原因となるため、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、ノンブリードタイプのシーリング材を用い、完全硬化後に塗り重ね適合性を確認のうえ塗装してください。
22. 可塑剤を多く含む部材（塩ビ鋼板・軟質塩ビ・ゴムパッキン・合成皮革・ラミネート材など）への塗装は、粘着・軟化・汚染が生じるおそれがあります。

【保管・取扱い・廃棄】
23. 塗料は直射日光・雨を避け、子どもの手の届かない場所に保管してください。塗料は凍結させないでください。容器は横倒しにしないでください。
24. 取扱い時は十分に換気し、必要に応じて保護マスク・保護めがね・保護手袋を着用してください。皮膚に付着した場合は石けん水で洗い落としてください。
25. 塗料・塗料容器・塗装用具などは産業廃棄物として処理してください。洗浄水を排水溝・河川・土壌へ流さないでください。
26. 使用期限は未開封で、水性・水溶性溶剤は製造後6ヶ月、溶剤形は製造後12ヶ月です。

東京ケミテック
Tokyo Chemitech

標準塗装仕様書

2液水性反応硬化形万能窯業系用カラープライマー

トーケミ窯業系カラープライマー [水性タイプ]

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	艶	荷姿（1セット）	混合比（重量）	ポットライフ	標準塗り面積（1回塗り）
トーケミ窯業系カラープライマー [水性タイプ]	標準色48色	3分艶相当	16kgセット（主剤15.0kg・硬化剤1.0kg） 8kgセット（主剤7.5kg・硬化剤0.5kg）	主剤：硬化剤＝15：1	5時間以内（23℃）	約88～123㎡/16kg 約44～61㎡/8kg

適用基材

外壁	窯業系サイディング、難付着サイディング、モルタル、ALC、RC、各種旧塗膜
屋根	新生瓦、セメント瓦、乾式洋瓦、シングル材、各種旧塗膜

標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (重量%)	塗装方法
下地調整	高圧洗浄などで、劣化塗膜・ごみ・ほこり・藻・かびなどの付着物を入念に除去し、十分に乾燥させる。 素地は含水率10%以下・pH10以下とし、浮き・割れ・ふくれのある旧塗膜は除去する。						
下塗り	トーケミ窯業系カラープライマー [水性タイプ]	1	0.13～0.18	3時間以上7日以内	水道水	0～5	はけ・エアレス ウールローラー
上塗り	適用上塗り材※1	各上塗り材の標準塗装仕様による					

※1 上塗り材は、各上塗り材の標準塗装仕様に従って施工してください。
注）上記の数値は標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件などにより多少の幅が生じることがあります。

施工上の注意事項

【施工環境・気象条件】

1. 気温5℃以下、湿度85%以上、被塗物の表面温度が5℃以下の場合、結露のおそれがある場合、屋外で降雨・降雪・強風のおそれがある場合は塗装を避けてください。
2. 乾燥不十分な状態で降雨・結露の影響を受けると、ふくれ・はく離・白化・シミなどが発生するおそれがあります。夜露の早い地域や寒暖差の大きい時期は、早めに作業を終えてください。
3. 絶えず結露が発生する部位・環境での使用は避けてください。水性塗料、水溶性溶剤塗料では塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物として析出することがあります。
4. ALC・軽量モルタル・高断熱型窯業系サイディング・発泡ウレタン使用建材など蓄熱しやすい「高断熱型外壁」では、蓄熱・水分・塗装環境などの条件が重なると、ふくれ・はく離が生じることがあります。躯体含水率が高い場合や漏水の止水処理が不十分な場合も同様です。旧塗膜にふくれがある場合は完全に除去してください。

【素地調整・下地】

5. 塗り替えの際は高圧洗浄やブラシなどで付着物・劣化塗膜を十分に除去してください。素地調整が不十分な場合、はく離・光沢不良・色むらなどの原因となります。
6. 高圧洗浄後は十分に乾燥させてから塗装してください。窯業系屋根材は内部に水分が残りやすいため、晴天で2～3日程度乾燥させてください。
7. 適用できる旧塗膜は、下地との付着性に問題のない活膜に限ります。光沢の残る旧塗膜は、目荒らしのうえ試し塗りで付着性を確認してください。
8. 新設のコンクリート・モルタル面は、pH10以下、表面含水率10%以下まで十分に乾燥させてください。
9. 藻・かびが繁殖している場合は、除去および殺菌処理後に十分水洗・乾燥させてから塗装してください。
10. 洗浄に薬剤を用いた場合は入念に水洗いし、被塗面が中性であることを確認してください。薬剤が残存するとふくれ・はく離・白化の原因となります。
11. 吸込みの激しい下地では、濡れ感・艶が出るまで増し塗りしてください。

【調合・希釈・かくはん】

12. 2液形塗料は主剤と硬化剤を規定の比率で正確に計量し、電動かくはん機で缶底・四隅まで均一に混合してください。混合比の誤りは乾燥不良・付着不良・耐久性低下の原因となります。ポットライフを過ぎた塗料は、外観上使用できる状態でも絶対に使用しないでください。
13. 希釈は規定の希釈剤・希釈率を守ってください。過剰希釈は隠ぺい力不足・光沢低下・色相変化・だれの原因となります。現場で一度定めた希釈率は以降も同一とし、溶剤形塗料では指定外の希釈剤を使用しないでください。
14. 使用前に十分にかくはんしてください。開缶後は一度に使い切り、残った塗料を元の容器に戻さないでください。

【屋根塗装】

15. 化粧スレートの重なり部が塗料で詰まった場合は、皮スキ・カッターなどで必ず縁切りを行うか、塗装前に専用スペーサーを挿入してください。雨水の排出不良による漏水・素材劣化の原因となります。

【塗装作業】

16. 所定の塗り回数・使用量を必ず守ってください。不足すると付着不良や、上塗りの吸込みむらの原因となります。
17. 塗り重ね乾燥時間を守ってください。短いと、ちぢみ・割れ・乾燥不良、長く空きすぎると層間の付着不良の原因となります。
18. ローラー目は同一方向にそろえて仕上げてください。はけ・ローラーは製品ごとに専用とし（水性塗料はナイロンはけ）、その日のうちに洗浄してください。
19. 塗装しない箇所は事前に養生し、付着した塗料は直ちに拭き取ってください。

【仕上がり】

20. 被塗物の形状・膜厚・塗装方法などにより、色相・艶が見本と若干異なって見える場合があります。事前に試し塗りを行ってください。

【適用部位・部材】

21. シーリング面への塗装は、汚染・はく離・割れ・粘着の原因となるため、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、ノンブリードタイプのシーリング材を用い、完全硬化後に塗り重ね適合性を確認のうえ塗装してください。
22. 可塑剤を多く含む部材（塩ビ鋼板・軟質塩ビ・ゴムパッキン・合成皮革・ラミネート材など）への塗装は、粘着・軟化・汚染が生じるおそれがあります。

【保管・取扱い・廃棄】

23. 塗料は直射日光・雨を避け、子どもの手の届かない場所に保管してください。塗料は凍結させないでください。容器は横倒しにしないでください。
24. 溶剤形塗料・硬化剤は火気厳禁とし、危険物の貯蔵基準に従って保管してください。硬化剤は湿気と反応して変質するため、密栓して保管してください。
25. 取扱い時は十分に換気し、必要に応じて保護マスク・保護めがね・保護手袋を着用してください。皮膚に付着した場合は石けん水で洗い落としてください。
26. 塗料・塗料容器・塗装用具などは産業廃棄物として処理してください。洗浄水を排水溝・河川・土壌へ流さないでください。
27. 使用期限は未開封で、水性・水溶性溶剤は製造後6ヶ月、溶剤形は製造後12ヶ月です。

東京ケミテック
Tokyo Chemitech

標準塗装仕様書

2液弱溶剤形万能窯業系用カラープライマー

トーケミ窯業系カラープライマー [弱溶剤タイプ]

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	艶	荷姿（1セット）	混合比（重量）	ポットライフ	標準塗り面積（1回塗り）
トーケミ窯業系カラープライマー [弱溶剤タイプ]	標準色48色	3分艶相当	16kgセット（主剤14.0kg・硬化剤2.0kg） 8kgセット（主剤7.0kg・硬化剤1.0kg）	主剤：硬化剤＝7：1	4時間以内（23℃）	約106～160㎡/16kg 約53～80㎡/8kg

適用基材

外壁	窯業系サイディング、難付着サイディング、モルタル、ALC、RC、各種旧塗膜
屋根	新生瓦、セメント瓦、乾式洋瓦、シングル材、各種旧塗膜

標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (重量%)	塗装方法
下地調整	高圧洗浄などで、劣化塗膜・ごみ・ほこり・藻・かびなどの付着物を入念に除去し、十分に乾燥させる。 素地は含水率10%以下・pH10以下とし、浮き・割れ・ふくれのある旧塗膜は除去する。						
下塗り	トーケミ窯業系カラープライマー [弱溶剤タイプ]	1	0.10～0.15	24時間以上7日以内	塗料用シンナー	0～8	はけ・エアレスウールローラー
上塗り	適用上塗り材※1	各上塗り材の標準塗装仕様による					

※1 上塗り材は、各上塗り材の標準塗装仕様に従って施工してください。
注）上記の数値は標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件などにより多少の幅が生じることがあります。

施工上の注意事項

【本製品の注意事項】
1. 塗膜の乾燥が不十分な状態（タック感が残る状態）で上塗りすると、層間の付着性が低下する原因となります。塗り重ね乾燥時間を必ず守ってください。

【施工環境・気象条件】
2. 気温5℃以下、湿度85%以上、被塗物の表面温度が5℃以下の場合、結露のおそれがある場合、屋外で降雨・降雪・強風のおそれがある場合は塗装を避けてください。
3. 乾燥不十分な状態で降雨・結露の影響を受けると、ふくれ・はく離・白化・シミなどが発生するおそれがあります。夜露の早い地域や寒暖差の大きい時期は、早めに作業を終えてください。
4. 絶えず結露が発生する部位・環境での使用は避けてください。
5. ALC・軽量モルタル・高断熱型窯業系サイディング・発泡ウレタン使用建材など蓄熱しやすい「高断熱型外壁」では、蓄熱・水分・塗装環境などの条件が重なると、ふくれ・はく離が生じることがあります。躯体含水率が高い場合や漏水の止水処理が不十分な場合も同様です。旧塗膜にふくれがある場合は完全に除去してください。

【素地調整・下地】
6. 塗り替えの際は高圧洗浄やブラシなどで付着物・劣化塗膜を十分に除去してください。素地調整が不十分な場合、はく離・光沢不良・色むらなどの原因となります。
7. 高圧洗浄後は十分に乾燥させてから塗装してください。窯業系屋根材は内部に水分が残りやすいため、晴天で2～3日程度乾燥させてください。
8. 適用できる旧塗膜は、下地との付着性に問題のない活膜に限ります。光沢の残る旧塗膜は、目荒らしのうえ試し塗りで付着性を確認してください。
9. 新設のコンクリート・モルタル面は、pH10以下、表面含水率10%以下まで十分に乾燥させてください。
10. 藻・かびが繁殖している場合は、除去および殺菌処理後に十分水洗・乾燥させてから塗装してください。
11. 洗浄に薬剤を用いた場合は入念に水洗いし、被塗面が中性であることを確認してください。薬剤が残存するとふくれ・はく離・白化の原因となります。
12. 吸込みの激しい下地では、濡れ感・艶が出るまで増し塗りしてください。

【調合・希釈・かくはん】
13. 2液形塗料は主剤と硬化剤を規定の比率で正確に計量し、電動かくはん機で缶底・四隅まで均一に混合してください。混合比の誤りは乾燥不良・付着不良・耐久性低下の原因となります。ポットライフを過ぎた塗料は、外観上使用できる状態でも絶対に使用しないでください。
14. 希釈は規定の希釈剤・希釈率を守ってください。過剰希釈は隠ぺい力不足・光沢低下・色相変化・だれの原因となります。現場で一度定めた希釈率は以降も同一とし、溶剤形塗料では指定外の希釈剤を使用しないでください。
15. 使用前に十分にかくはんしてください。開缶後は一度に使い切り、残った塗料を元の容器に戻さないでください。

【屋根塗装】
16. 化粧スレートの重なり部が塗料で詰まった場合は、皮スキ・カッターなどで必ず縁切りを行うか、塗装前に専用スペーサーを挿入してください。雨水の排出不良による漏水・素材劣化の原因となります。

【塗装作業】
17. 所定の塗り回数・使用量を必ず守ってください。不足すると付着不良や、上塗りの吸込みむらの原因となります。
18. 塗り重ね乾燥時間を守ってください。短いと、ちぢみ・割れ・乾燥不良、長く空きすぎると層間の付着不良の原因となります。
19. ローラー目は同一方向にそろえて仕上げてください。はけ・ローラーは製品ごとに専用とし（水性塗料はナイロンはけ）、その日のうちに洗浄してください。
20. 塗装しない箇所は事前に養生し、付着した塗料は直ちに拭き取ってください。

【適用部位・部材】
21. シーリング面への塗装は、汚染・はく離・割れ・粘着の原因となるため、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、ノンブリードタイプのシーリング材を用い、完全硬化後に塗り重ね適合性を確認のうえ塗装してください。
22. 可塑剤を多く含む部材（塩ビ鋼板・軟質塩ビ・ゴムパッキン・合成皮革・ラミネート材など）への塗装は、粘着・軟化・汚染が生じるおそれがあります。

【保管・取扱い・廃棄】
23. 塗料は直射日光・雨を避け、子どもの手の届かない場所に保管してください。塗料は凍結させないでください。容器は横倒しにしないでください。
24. 溶剤形塗料・硬化剤は火気厳禁とし、危険物の貯蔵基準に従って保管してください。硬化剤は湿気と反応して変質するため、密栓して保管してください。
25. 取扱い時は十分に換気し、必要に応じて保護マスク・保護めがね・保護手袋を着用してください。皮膚に付着した場合は石けん水で洗い落としてください。
26. 塗料・塗料容器・塗装用具などは産業廃棄物として処理してください。洗浄水を排水溝・河川・土壌へ流さないでください。
27. 使用期限は未開封で、水性・水溶性溶剤は製造後6ヶ月、溶剤形は製造後12ヶ月です。